

第29回 山梨県道路交通円滑化・安全委員会 議事内容

日時:令和7年3月19日(金)

場所:書面

■委員会出席者

早稲田大学 理工学術院
創造理工学部社会環境工学科 教授

佐々木 邦明(委員長)

(一社)山梨県タクシー協会 会長

雨宮 正英

(一社)山梨県バス協会 専務理事

篠原 勇

(一社)山梨県トラック協会 会長

坂本 幸晴

山梨経済同友会 代表幹事

入倉 要

甲府商工会議所卸売商業部会 部会長

藤巻 眞史

(一社)日本自動車連盟 山梨支部 事務所長

原田 晃宏

一般財団法人山梨県交通安全協会専務理事

岩柳 治人

中日本高速道路(株)八王子支社

企画調整課・担当課長

西田 匡志

交通管制課・課長

佐野 昌嗣

甲府保全・サービスセンター所長

樋上 和人

国土交通省関東運輸局山梨運輸支局

鈴木 一雄

首席運輸企画専門官

山梨県観光文化・スポーツ部

杉田 浩枝

観光文化・スポーツ総務課長

山梨県県土整備部道路整備課長

保坂 和仁

山梨県県土整備部道路管理課長

内藤 広

山梨県警察本部交通部交通規制課長

手塚 芳仁

国土交通省 関東地方整備局

草野 眞史

甲府河川国道事務所長

(敬称略)

■議事内容

＜渋滞対策＞

1. 主要渋滞箇所に関する話題

- ① 委員会の検討経緯と今回の論点
- ② 第 28 回委員会意見への対応
- ③ 主要渋滞箇所の見直し(最新の交通状況による分析)
- ④ ピンポイント渋滞対策の検討状況
- ⑤ 道路利用者会議等からの渋滞対策要望箇所の検討
- ⑥ TDM(交通需要マネジメント)施策に関する検討

＜交通安全対策＞

1. 委員会の経緯と今回の論点
2. 前回委員会(第 28 回)の振り返り
3. 前回委員会意見への対応報告
4. 第 2 次事故ゼロプランについて
5. 生活道路における事故対策について
6. 今後のスケジュール

■審議結果

第 29 回山梨県道路交通円滑化・安全委員会については、参集しての開催を取りやめ、書面開催により行いました。

つきましては、当議事概要をもって書面開催結果のご報告に替えさせていただきます。

●渋滞対策関係

<決定事項>

- ・短期対策を当面未対策とする候補箇所の検討について、富士見バイパス北交差点は経過観察とすることで了承を得た。
- ・令和6年度に検討したピンポイント渋滞対策9箇所の検討状況について、了解を得た。

<議事内容>

【委員長質問】

- ・資料1のP.7, 9にモニタリングとあるが、これは具体的に何を指しているのか。

【事務局回答】

- ・各主要渋滞箇所の速度状況、事業状況を分析し、主要渋滞箇所からの解除を検討するための指標を指している。

【委員長意見】

- ・資料1のP.22に駐輪場設置箇所数を示しているが、サイクル・アンド・ライドの状況を把握するには利用状況を把握すべきであると思う。

【事務局回答】

- ・承知した。甲府市に利用状況等を確認して、状況を報告する。

【委員長意見】

- ・資料3のP.27のTDMについて、一般論ではなく、山梨県内の環境に沿った内容にしていきたい。そのためにどのようなデータが利用可能なのか等を示していただきたい。また観光客が減少してしまわないようにするためには、通常のTDMとどう検討を変えたら良いか等、現地の要望に合うような渋滞対策としてのTDMを示していただきたい。

【事務局回答】

- ・承知した。

●交通安全対策関係

<決定事項>

- ・第2次事故ゼロプランの区間について、「令和6年度山梨県交通事故多発地点」である3箇所について、追加することで了承を得た。

<議事内容>

【委員意見】

- ・意見なし